

サーキュラーエコノミー移行事業 1年目 実施報告

自社オフィス執務室及びリフレッシュスペースにおけるリユースカップの導入

株式会社ブレインパッド

2026年5月

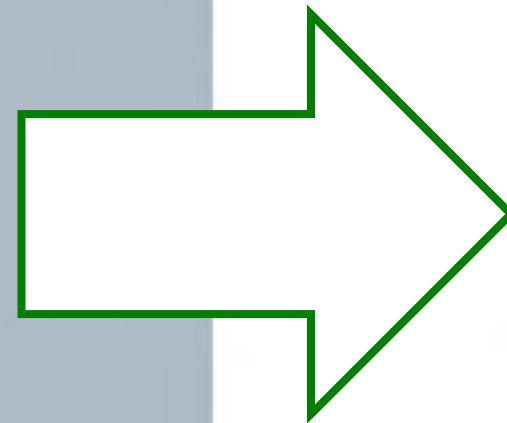
背景と概要：使い捨ての日常から、循環するオフィスへ

持続可能な未来をつくるための第一歩として、社内の「紙コップ」と「プラスチックリッド」の削減に取り組む



課題

- ・リフレッシュスペースでの毎日のコーヒー・飲料消費に伴う、紙コップ・フタの大量廃棄。
- ・従業員の環境意識はあっても、具体的な行動に移す「仕組み」が不足。

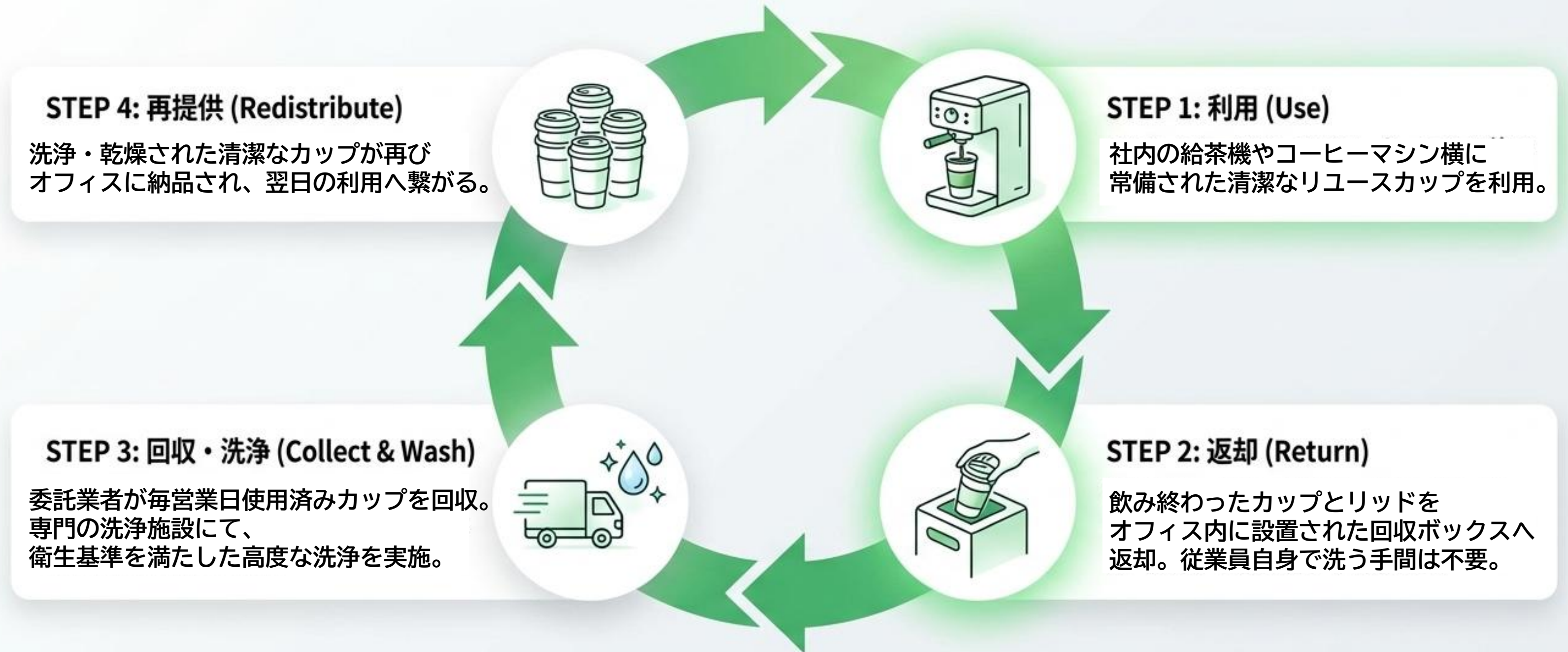


解決策・概要

- ・テラレムグループとの協働：専用インフラを用いたリユースカップサービスの導入。
- ・愛着を生むデザイン：「思わず手に取りたくなる」ブレインパッドのオリジナルデザインカップを製作。
- ・目指す姿：毎日廃棄されていた紙コップとプラスチックリッド（フタ）の「廃棄ゼロ」！

運用フロー：手軽でシームレスな「循環の仕組み」

従業員に負担をかけず、日常の延長線上で確実にプラスチック・紙ごみを削減するインフラを整備。



1年目の実績：紙コップ廃棄「ゼロ」の定着と行動変容

導入初年度から多くの従業員に支持され、オフィス内の廃棄物削減に直結。

定量的インパクト (Quantitative Impact)

約**4,800**杯分/月
の使い捨てをシフト

従来消費されていた紙コップおよびプラスチックリッドを、リユースカップへ完全に置き換え。

紙コップ廃棄実質ゼロを達成

対象エリアにおける可燃ごみ（使い捨てカップ）の排出を根絶。

定性的成果 (Qualitative Achievement)

✓ 従業員の行動変容の実現

デザイン性の高いカップにより利用が促進され、「マイボトルを持参し忘れた日」でも環境に配慮できる選択肢として定着。

✓ 衛生面・運用面のトラブルなし

専門業者による確実な洗浄・配送サイクルにより、年間を通じて安全・安心な運用を維持。

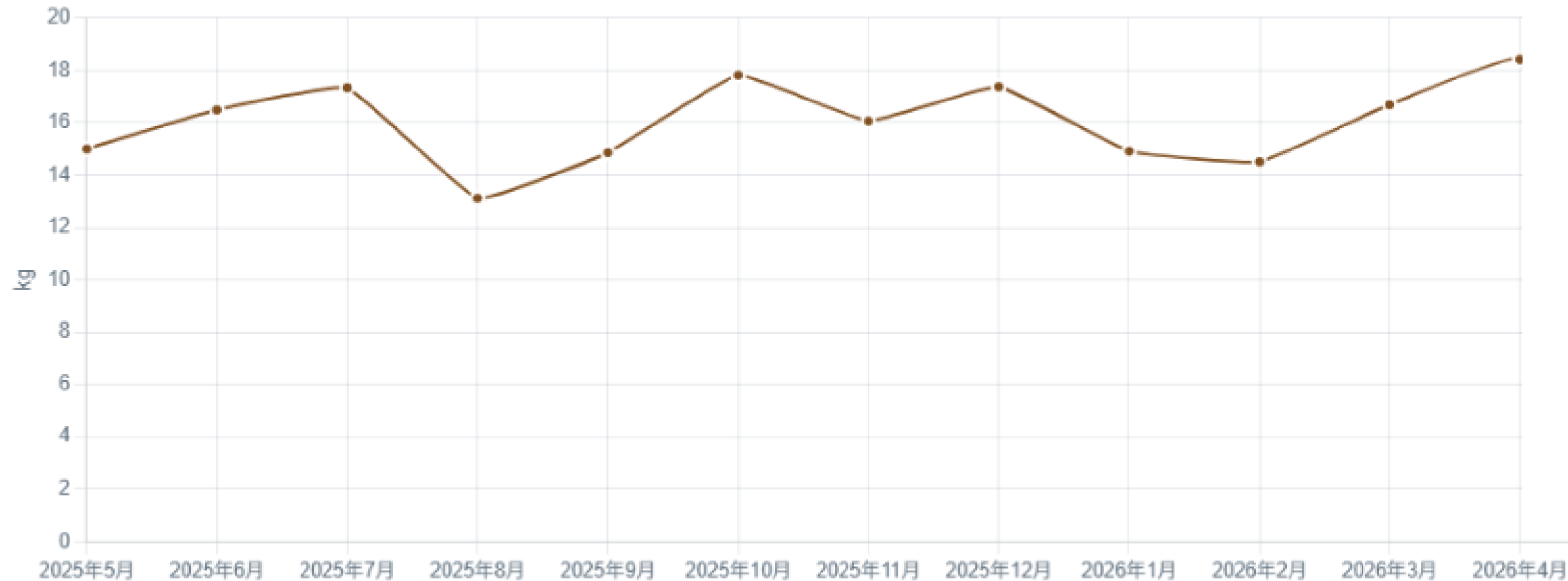
実績値(2025年5月～2026年4月)

廃棄物削減量：214.6kg **CO2削減量：1,416.5kg-CO2e (=レジ袋 約42,925枚分)**

※リユース容器の使用により、同サイズの使い捨て容器を削減した重さを「廃棄物削減量」と定義。

※リユース容器と使い捨て容器の「製造～輸送～廃棄」までのCO₂排出量の差をもとに算出。(リユース容器は「回収、洗浄」を含む)

時系列推移



※前提：リユース容器は、1日2,500個を洗浄・50回繰り返し利用

※計算方法：排出量はGHGプロトコルに基づき、IDEA・環境省排出原単位データベース・事業者別排出係数一覧を参照し、計算

※2025年8月時点では、カップのみ対象（フタは除く）

〈例〉 33g (削減/個) × 1,000個 = 33kg削減